

「第72回大阪総体」結果報告

男子団体は準決勝進出で久々の上位争いも・・・

9月3日(日)に、「第72回大阪総合体育大会弓道競技の部」が行われました。この大会は昨年度より、個人戦は4射3中以上で予選通過、いきなり決勝射詰で順位を決定。団体戦も予選1立12射の一発勝負で、上位8位までが決勝トーナメントに進出という試合形式になりました。

◆個人戦 女子が大健闘！

個人戦は、男子5名、女子4名が出場しました。4射3中以上で通過ですが、男子は3年伊藤と2年寺田は1、2本目を的中するも、残りの3、4本目を外すという情けない結果で、同じく2中の2年森永とともにあえなく予選落ちとなりました。残りの2年増田と1年藏本も残念ながら予選落ちでした。女子は1年古谷が3中で堂々の決勝競技に進出です。2年高橋も2中と健闘しましたが後1本届かず無念の予選落ちとなりました。1年本木下、紺谷も予選落ちとなりました。女子は決勝競技に残ったのが8名しかおらず、この時点で8位となりました。競技1本目を惜しくも外し、5位、6位の遠近競技に回りました。(表彰は6位まで)遠近競技の結果、残念ながら入賞に届きませんでした。しかし、本大会の決勝競技を経験できたことは今後、必ず生きてくると思います。古谷大健闘だ！よくやった！



◆団体戦 復活の兆し・・・

団体は、男子1チーム(2年森永、3年伊藤、2年寺田、補欠1年久)、女子1チーム(1年古谷、本木下、2年高橋、補欠1年富樫)の出場です。

男子は、最近団体で決勝リーグや決勝トーナメントに残れないことが続いたので、なんとか残りたいと思っていました。ただ、予選が1立の1発勝負となるので正直心配でした。しかし顧問の心配をよそに、本校には珍しく1本目から快調的に的中を伸ばしていきます。3本目終了までで9射8中とこれ以上ない的中でしたが、最後の4本目を3人とも外すというカッコ悪い終わり方で結局12射8中となり、予選4位タイで決勝トーナメント進出を決めました。決勝トーナメント準々決勝の相手は岸和田産業Bです。ここで本校は、12射11中という今日一番の的中(大会全体でも1番でした。)で快勝しました。続く準決勝は予選1位の浪速高校を破って勢いにのる大阪青凌高校です。お互い緊張からか的中が伸びず我慢比べとなりましたが、本校が根負けして無念の準決勝敗退となりました。普通ならこれで3位となるのですが、大阪総体は3位決定戦があります。3位決定戦は今年のインターハイ準優勝の大阪学院大学高校です。本校も7中と頑張りましたが完敗でした。結果、4位という結果となりました。

女子は、久しぶりの本選出場です。ブロック予選で活躍した1年生2人は、さすがに本大会では緊張から本来の力を発揮できませんでした。そんな中、ただ一人の2年生の高橋が2中と頑張りを見せてくれました。結果、予選落ちとなりましたが、夢の決勝トーナメント進出へ“ナイストライ”でした。



男子団体
森永 伊藤 寺田

女子団体
古谷 本木下 高橋



◆頑張ったが・・・

男子団体は、「準決勝進出」と、なんとか格好がつかしました。ただ、今回のメンバーを決めるとき、大いに悩みました。本来は、1，2年生のみで団体を組んで勝負したかったのですが、2年森永と寺田に続く3人目がなかなか決まりません。1年生も伸び悩み、どうしても“あと一人”足りません。「予選落ちしてもいいから1，2年生だけで行こう。」とも思ったのですが、今回はどうしても結果を出して、ここ最近の悪い流れを断ち切りたかったのです。そこで真ん中に3年の伊藤を入れて勝負に出ました。伊藤を真ん中に置いた理由は、森永と寺田に安心感を与え、少しでも余裕を持たせて二人に試合で結果を出してほしかったからです。結果、このメンバー構成が見事にはまり、伊藤に引っ張られるように森永、寺田も的中を伸ばしていきました。準々決勝の11中などは二人にとっては自信になったのではないのでしょうか。しかし、プレッシャーのかかった準決勝では二人揃って崩れてしまい、負けてしまいました。最後に悔しい思いをしましたが、これも次につながるいい経験となると思います。そんな中、伊藤は“さすが3年生”と思わせる堂々とした射で2年生を引っ張ってくれました。試合前日に「団体に入れてくれ」と本人に頼みました。本人は個人戦一本で行くつもりだったようですが、顧問の期待に答えるすばらしい活躍でした。

さあ、次は私学大会です。上位4校に、「全国私学大会」への出場権が与えられます。こんどこそ、1，2年生のみで勝負し、「全国」の切符を勝ち取ってほしいと思います。女子も今回の経験を生かし、上位4校を目指して頑張してほしいと思います。

「奇跡といっても自然に起きるわけではない。奇跡がなぜ起きるのか、プロセスを

研究する必要がある。毎日奇跡が起きるわけではない。奇跡を金で買うこともで

きない。入念に準備をした上でしか奇跡は起きない。」

イビチャ・オシム